

教科	工業	科目名	建築計画	単位数	2
学科	建築科	学年	3 学年	履修区分	選択
使用教科書	建築計画(実教出版)				
副教材など	建築計画ノート				

科目の目的

- ① 建築の発達、歴史的な変遷現状などの習得をめざす。
- ② 建築の設計活動に深い関心と意欲を持ち、合理的かつ意匠的に計画し、実践できる能力と態度を養う。

授業の内容と進め方

本校では、講義のみの授業にならないように、教科書を理解させるだけでなく実験、実習科目と連携をとり各種資格試験の取得にもつながる知識を習得しています。

学習する上での留意点

単元ごとに、小テストを行います。各学期に中間考査・期末考査を実施します。

課題等について

単元ごとに、学習目標に達しない生徒には、補習を実施します。

成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	住宅、集合住宅、事務所の計画に関する基本的な知識や設計方法について関心を持ち意欲的な態度で取り組んでいるか。
思考・判断・表現	住宅、集合住宅、事務所の計画を具体的に考え、適切な判断と創意工夫する能力を身につけている。
技能	住宅、集合住宅、事務所の各機能を理解し建物の計画ができる。
知識・理解	住宅、集合住宅、事務所の計画・設計にあたって基本的な知識を習得し住宅の設計ができる。

評価の方法

定期考査、提出物、授業中の演習問題、出席状況、授業態度等を総合的に判断して評価する。

《指導計画》 科目名 建築計画

3 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考查等)	学習のねらい	評価方法等	
一 学 期	4	(1)集合住宅の計画 ア集合住宅の意義 ①集合住宅の目的 ②集合住宅の種類	○集合住宅の計画の基本的な手法について「建築製図」と関連付けて理解することができる。	中間考查	
	5	イ全体計画 ①調査・検討項目 ②敷地計画 ③配置計画 ④平面計画 ⑤設備計画			
	6	ウ各部の計画 ①寝室・居間 ②食事室・台所 ③便所・浴室 ④バルコニー ※集合住宅の設計	○3LDKのマンションの設計を行う。		
	7	(2)事務所の計画 ア事務所の意義 ①事務所の目的 ②事務所の種類 ③貸事務所の構成 ④貸事務所の特徴	○事務所建築の計画・設計ができる基本的な能力を養い、事務所を単体としてのみ考えるのではなく、都市を構成する要素であることを認識できる。		期末考查 (出欠, 態度等により総合的に評価する)
	9	イ全体計画 ①調査・検討項目 ②敷地計画 ③配置計画 ④平面計画 ⑤防災・避難計画 ⑥設備計画	○事務所建築の基本的な手法について「建築製図」と関連付けて理解することができる。		中間考查
	10	ウ各部の計画 ①収益部分 ②非収益部分			
	11	3)都市と地域の計画 ア都市計画の概要 ①都市計画の目的と理念 ②都市計画と都市計画法 ③都市計画と建築制限	○都市の機能と構成を把握して、住宅地の計画を具体的に理解できる。		
12	イ都市計画の進め方 ①都市計画の立案過程 ②都市開発		期末考查 (出欠, 態度等により総合的に評価する)		
三 学 期	1	ウ住宅地の計画 ①住宅地の構成 ②住宅地における土地利用計画 ③都市施設計画	○都市の機能と構成を把握し、住宅地の計画を具体的に理解できる	期末考查 (出欠, 態度等により総合的に評価する)	
	2				
	3				